モニタリングサイト 1000　高山帯調査

植生データの概要と利用上の注意点

目　次

Ⅰ．利用上の注意点……2

Ⅱ．データセットの概要……3

Ⅲ．データの内容と説明……3

Ⅳ．参考文献等……9

Ⅰ．利用上の注意点

・本文書にはモニタリングサイト 1000 高山帯調査のうち、植生データ（以下「データ」という）の概要と利用上の注意点が書かれています。データを利用する際は、必ず「本文書」及び「データの利用方法（https://www.biodic.go.jp/copyright/index.html）」をお読みください。これらに書かれている注意点に同意できない場合は、データを利用することはできません。

・モニタリングサイト 1000 については、モニタリングサイト 1000 ウェブサイト（https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html）をご参照ください。

・データを利用する際は、論文、プレゼンテーション等にデータの出典を下記の例のように明示してください。

＜データ出典の明示例＞

「xxx のデータについては、環境省・モニタリングサイト 1000 プロジェクトによる（○○○○.zip, https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index.html,よりダウンロード）。」

“Data for XXX was provided by the Ministry of the Environment Monitoring Sites 1000 Project (○○○○.zip, downloaded from https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index.html)”.

・データについてのご質問は、本文書の最後に書かれている「お問合せ先」までご連絡ください。

・ウェブサイトで公開されていないデータをご利用になりたい場合は、環境省自然環境局生物多様性センターまでお問合せください。

・データの体裁及び本文書は、予告なく変更される場合があります。

Ⅱ．データセットの概要

・調査サイトで選定されたプロットの植生調査の結果を示したデータです。
・３~５年間隔で、植物が生えそろった時期に実施しています。
・調査方法の詳細は、高山帯調査マニュアル　植生
（https://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/index.html)をご参照ください。
・データファイルは、調査プロット、調査年毎に分かれています。

Ⅲ．データの内容と説明

・ファイル名
モニタリングサイト 1000 高山帯調査のコード（mot-az）_サイト ID＋調査プロット ID＋調査項目（vegitation）_調査期間.xls
・それぞれの Excel ファイルは、調査日や調査地点等を入力した「概要シート」と、調査結果を入力した「調査票」からなっています。
・公開することで乱獲等のおそれがあるデータについては、非公開となっています。また、データ取得者が研究論文の発表までは優先的に利用することを希望したデータについては、非公開期間を設定しています。

＜植生データのファイル一覧＞

サイト名	プロット名	ファイル名
1 大雪山	黒岳風衝地	mot-az_1a_vegitation_20110707.xls mot-az_1a_vegitation_20160731.xls mot-az_1a_vegitation_20210813.xls
	黒岳石室	mot-az_1b_vegitation_20110809.xls[3)] mot-az_1b_vegitation_20160827.xls mot-az_1b_vegitation_20210812.xls
	赤岳コマクサ平	mot-az_1c_vegitation_20100709.xls[7)] mot-az_1c_vegitation_20150728.xls[6,8)] mot-az_1c_vegitation_20200814.xls[9)]
	赤岳第4雪渓	mot-az_1d_vegitation_20100806.xls mot-az_1d_vegitation_20150819.xls mot-az_1d_vegitation_20200813.xls
2 北アルプス（立山）	室堂平	mot-az_2a_vegitation_20120821.xls[11)] mot-az_2a_vegitation_20170904-0905.xls[11)] mot-az_2a_vegitation_20220904-0905.xls
	風衝地 [1)]	mot-az_2b_vegitation_20110802-0805.xls[4,10)] mot-az_2b_vegitation_20160722-0728.xls[10)] mot-az_2b_vegitation_20210729-0730.xls
4 白山	千蛇ヶ池南方風衝地	mot-az_4b_vegitation_20120809.xls mot-az_4b_vegitation_20150812.xls mot-az_4b_vegitation_20200914.xls
	水屋尻	mot-az_4c_vegitation_20110809.xls mot-az_4c_vegitation_20140813.xls mot-az_4c_vegitation_20170903-0904.xls mot-az_4c_vegitation_20220929-0930.xls
	南竜ヶ馬場	mot-az_4d_vegitation_20100811.xls mot-az_4d_vegitation_20110810.xls mot-az_4d_vegitation_20130812-0813.xls[5)] mot-az_4d_vegitation_20160823-0825.xls mot-az_4d_vegitation_20210923-0924.xls
5 南アルプス（北岳）	プロット B[2)]	―
	プロット A[2)]	―
	プロット C[2)]	―

6 富士山	山頂付近 A	mot-az_6a_vegitation_20100901.xls mot-az_6a_vegitation_20150905.xls mot-az_6a_vegitation_20220803.xls
	森林限界付近	mot-az_6b_vegitation_20110806.xls mot-az_6b_vegitation_20150911.xls mot-az_6b_vegitation_20200801.xls
	山頂付近 C	mot-az_6c_vegitation_20110827.xls mot-az_6c_vegitation_20160824.xls mot-az_6c_vegitation_20220803.xls
	山頂付近 D	mot-az_6d_vegitation_20110827.xls mot-az_6d_vegitation_20160824.xls mot-az_6d_vegitation_20220803.xls
	山頂付近 E	mot-az_6e_vegitation_20120801-0802.xls

1）小数点第２位以下の位置情報と一部の種名が保護情報になっています。

2）植生調査データが保護情報になっています。

3）2011 年の調査で記載されたミヤマウシノケグサはコメススキの誤同定であったため、2017 年３月に修正しました。
No.1 の E04 と No.2 の A11 のコエゾツガザクラのデータを 11 から 1 に、2023 年に修正しました。

4）2011 年はミヤマウシノケグサをコメススキに、ミヤマコウボウをイワスゲに誤同定した可能性があります。

5）2013 年の調査で記載されたイワイチョウの一部をイワカガミに、オオヒゲノガリヤス？、イネ科 sp.、オニノガリヤスをオオヒゲノガリヤスに、2017 年３月に修正しました。

6）サブコドラート No1、2 のミヤマウシノケグサは、コミヤマヌカボが誤同定された可能性があります。

7）2022 年に、シート No.2、3 の双葉実生 sp.を双子葉実生に修正、備考に「出現種数は双子葉実生を含まない」を追記、出現種数を No.2 は 13 種から 12 種、No.3 は 12 種を 11 種に修正しました。

8）2022 年に、シート No.3、5 の双葉実生 sp.を双子葉実生に修正、備考の「出現種数は双葉実生を含む」から「出現種数は双子葉実生を含まない」に修正、出現種数を No.3 は 14 種から 13 種、No.5 は 13 種を 12 種に修正しました。

9）2022 年に、シート No.4、8 の備考に「出現種数は双子葉実生を含まない」を追記、出現種数を No.4 は 15 種から 14 種、No.8 は 10 種を 9 種に修正しました。

10）2022 年に、ヒロハノコメススキをヒナガリヤスに修正しました。

11）2023 年にクロウスゴをマルバウスゴに修正しました。

＜概要シート＞
調査項目：本データファイルの調査項目名
サイト名：本データが観測されたサイトの名称
プロット ID：本データが観測されたサイト内のプロットのシリアル ID（c は植生共通）
プロット名：本データが観測されたサイト内のプロットの名称
現地調査主体：本データの観測を行った調査主体の名称
調査代表者:現地調査主体の代表者氏名
現地調査日：現地で調査を行った日付
北緯（°）：本データの観測プロット位置の緯度情報
小数点第２位以下が、非公開になっている場合があります。
東経（°）：本データの観測プロット位置の経度情報
小数点第２位以下が、非公開になっている場合があります。
標高（m）：本データの観測プロット位置の標高情報
位置情報の取得方法：観測プロットの位置情報を取得した手段
データの保護の必要性：原データを保護する必要性の有無
非公開期間：原データを非公開とする期間
位置情報の保護の必要性：原データの位置情報の保護の必要性の有無
備考：その他特記事項

例:

項目	記入例
調査項目	植生調査
サイト名	○●岳
プロット ID	4Ac
プロット名	高山荘
現地調査主体	自然調査の会
調査代表者	山田太郎
現地調査日	2011/7/1、8/10、10/12
北緯(°)	36.564377
東経(°)	139.206396
標高(m)	2,450
位置情報の取得方法	GPS を使用
データの保護の必要性	必要性有り。乱獲の恐れのある●○ソウが見られる。
非公開期間	期限無し
位置情報の保護の必要性	必要性有り。乱獲の恐れのある●○ソウが見られる。
備考	●○ソウ、△▲ランに食害あり。等

＜調査票＞

コドラート No：１ｍ×１ｍのサブコドラートの番号（No１~No10）

調査日：植生調査を実施した月日

調査者：コドラートごとの調査者名

出現種数：コドラートごとに出現した植物の種類数

植被率：10cm×10cm に区切られた 100 マスのうち、植物が生育しているマス数

岩石・砂礫率：10cm×10cm に区切られた 100 マスのうち、岩石・砂礫があるマス数

蘚苔類：10cm×10cm に区切られた 100 マスのうち、蘚苔類が生育しているマス数

地衣類：10cm×10cm に区切られた 100 マスのうち、地衣類が生育しているマス数

科名：コドラート内に出現した維管束植物の科名

species 種名：コドラート内に出現した維管束植物の種名

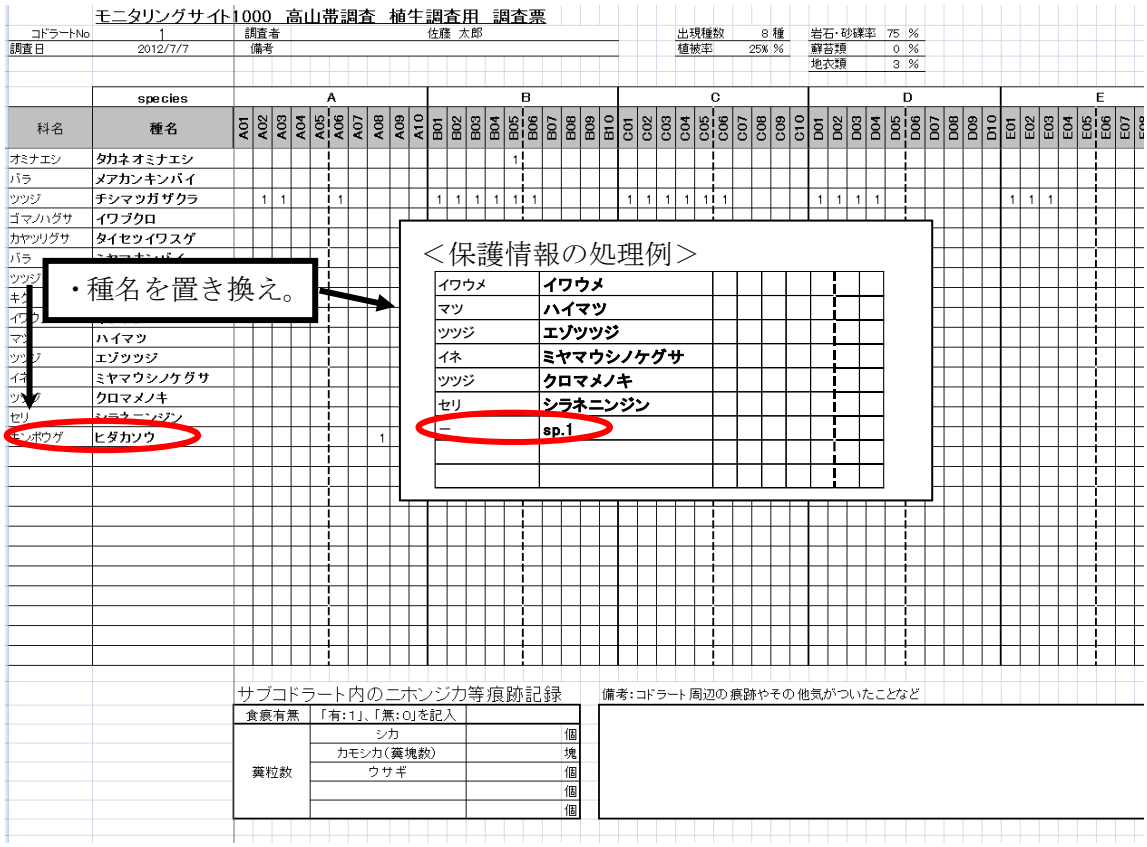
※公開することで乱獲のおそれがある種類については、種名を sp.1、sp.2、sp.3 …の形で表記しています。

サブコドラート内のニホンジカ等痕跡記録

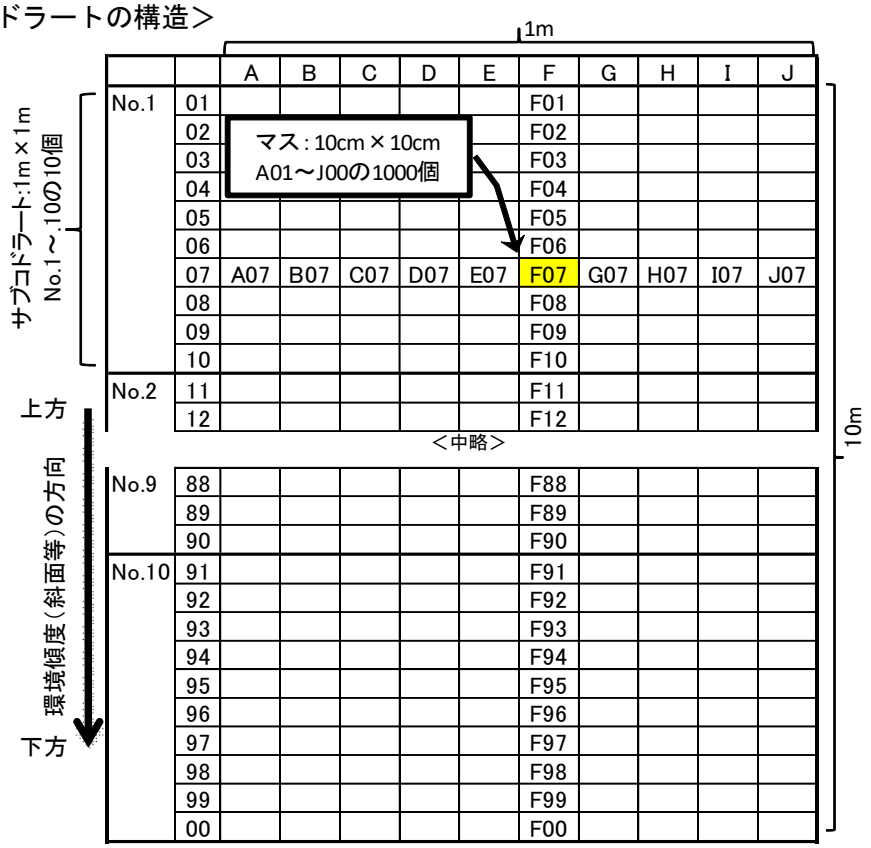
食痕有無：草食動物（ニホンジカ等）の食痕の有無

糞粒数：糞粒の形状や周囲の状況から推測される動物名ごとの、糞粒または糞塊の数

備考：コドラート周辺の痕跡やその他気がついたこと：足跡などの痕跡や、調査地近くの山小屋の人から得た生息状況等



＜コドラートの構造＞


1m
A B C D E F G H I J
No.1
01 F01
02 F02
03 F03
04 F04
05 F05
06 F06
07 A07 B07 C07 D07 E07 F07 G07 H07 I07 J07
08 F08
09 F09
10 F10
No.2
11 F11
12 F12
＜中略＞
No.9
88 F88
89 F89
90 F90
No.10
91 F91
92 F92
93 F93
94 F94
95 F95
96 F96
97 F97
98 F98
99 F99
00 F00
マス：10cm×10cm
A01～J00の1000個
サブコドラート:1m×1m
No.1～10の10個
上方
環境傾度（斜面等）の方向
下方
10m

Ⅳ．参考文献等

モニタリングサイト1000 高山帯調査マニュアル
https://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/index.html

モニタリングサイト 1000 ウェブサイト
https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html

作成 2023 年 5 月

お問合せ先（2023 年 5 月現在）

一般財団法人自然環境研究センター
モニタリングサイト 1000 高山帯担当者
〒130-8606
東京都墨田区江東橋 3-3-7
Tel: 03-6659-6310　Fax: 03-6659-6320

環境省自然環境局生物多様性センター
担当：保全科
〒403-0005
山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1
Tel: 0555-72-6033
E-mail: biodic_webmaster@env.go.jp